



市議会の会
楠 晋典 議員

問 2019ラグビーワールドカップのトンガ王国キャンプに向けて

Q 熊本での試合直前の時期での本市におけるキャンプに向けて、整備しなければならぬ物事はなにか？

A 練習グラウンドの芝生と土壌管理、トレーニング機器、ゴールポスト、目隠しフェンスなど5千万円程度のハード整備が必要。地元住民の方との交流事業、各種イベント、ラグビー教室、ウエルカムパーティー、市内における看板やフラッグの掲示等、ソフト面でもなしを考えている。また、他会場でのトンガ戦のパブリックビューイングについても実現に向けて、調整を図りたい。

Q 本年、南島原市の原城の世界遺産、来年、ラグビーワールドカップ、翌年、オリンピックと世界的な動きの中で、本市付近での交流人口の増大が見込まれる。特に本市観光面での課題である熊本方面からの誘客はさらに強く図っていくべきであると思うがどうか。

A 観光ビューローでもインバウンドのチャンスと捉え、企画を考えている。また、島原鉄道におかれても熊本から島原・長崎への導線を考えておられる。このようなことは一過性に終わらせず、いろんな機関と連携し、交流人口増加を考えていきたい。

問 高潮対策、大雨対策、広馬場付近、船泊付近、大手川

Q 船泊地区の護岸工事についての進捗はどうか。

A 今年度の実施設計、31年度に埋め立て申請・護岸敷きの寄附手続き、32年度より工事着手ということで県から聞いています。

Q 船泊地区は砂や泥も多く堆積している。船底をこすりながら往来されておられ、漁業を営む方にも不便ではないし、当然高潮にも影響する。浚渫工事もあるべきと思うがどうか。

A 浚渫工事についても、県において実施設計が行われ、施工範囲も含め、今後検討されると聞いている。

【その他の質問項目】
◇防災力向上のため
◇公共施設の総合管理計画について



市議会の会
林田 勉 議員

問 行き場のない農地・山林・不動産はどうなるのか？

Q 耕作できない農地や、保全できない不動産の市への相談状況と内容はないか。

A 農地は農業委員会へ年4〜7件の相談、宅地等は年3〜6件の寄附の申し込みがある。内容は所有者が県外在住である、亡くなっている、高齢のため維持できないなどである。

Q 利益を生まない、維持にお金のかかる負の不動産所有を未然に防ぐために、農地・山林・宅地の流通総合窓口（不動産バンク）の設置が出来ないか？

A 総合窓口の必要性は理解するが、設置が可能な含め研究したい。

問 2019年・ラグビーW杯の先に見えるものは何か？

Q トンガ王国チームキャンプ期間中の経済効果、島原のPR効果と、

今後の繋がりはどうするのか。

A サポーター、ファンの来島や本市の魅力の発信で経済効果がある。大会後もスポーツ交流に繋がってきたい。

Q 2020年「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、キャンプ地として誘致活動をしてはどうか。

A 早く情報収集し、他に先駆けた行動はインパクトがあるので、教育委員会と協力して積極的に進めていきたい。

問 地域ドラマ『かんざら』に恋しては？

Q どのような物語なのか？

A かんざらしの名店『銀水』を市が復活し、再生する地域おこし協力隊や住民の奮闘をドラマ化したもの。来年2月にBSで全国放送の予定。

Q 地域おこし協力隊員の努力と評価、今後の支援をどう考えているのか。

A 銀水の再建では大変努力して頂いた。今後、移住・定住をしてもらえるようサポートしていきたい。

【その他の質問項目】
◇『認知症サポーター』学校と市民の取り組み状況は？